

全国海運組合連合会

令和4年度 船主連絡協議会 貨物船部会

徳島大会 開催

全国海運組合連合会(全海運)は、2022年10月14日(金)、徳島市内のJRホテルクレメント徳島に於いて「令和4年度 船主連絡協議会 貨物船部会 徳島大会」を開催した。

船主連絡協議会(船連協)は、全海運【貨物船部会】と全国内航タンカー海運組合(内タン)【油送船部会】の各船主部会で構成されており、全海運では、今後も安全で安定的な内航輸送を提供する為に、オペレーター訪問を行い、相互に協力する関係構築を目指して活動を行っている。

その一環として毎年1回、地方大会を開催し、船主の抱える課題について討議を行い、オペレーター訪問等の活動に反映している。

今回は、来賓として、お膝元である四国地方海運組合連合会・村田泰会長及び徳島県内航海運組合・沖野雅信理事長のお二方にご臨席を賜わった。



内タン【油送船部会】からは、山本宗宏部会長及び三谷秀明委員の2名が参加、全海運【貨物船部会】からは、日浦公德部会長、畝河内毅委員及び渡邊慶太委員の3名が出席した。



一般参加者は四国管内以外のエリアからも足を運んで頂き、事務局関係者を含め総勢40名以上が全国から参集し、日浦部会長の開会挨拶で幕開けした。

第1部は、以下の6項目について説明があった。

- ① 船主連絡協議会の活動
- ② 2022年度 貨物船 船舶経費
- ③ 2022年度 若年船員育成費用
- ④ STCW条約2010 マニラ改正について
- ⑤ 内航ミライ研究会 SIM-SHIPについて
- ⑥ 内航海運組合の組織について

②2022年度 貨物船 船舶経費については渡邊委員より、⑤内航ミライ研究会 SIM-SHIPについては、畝河内委員より同研究会のコンセプト等丁寧な説明があり、参加者も熱心に聞き入っていた。



他項目は主に日浦部会長より説明があり、同部会長作成の資料を基に要点をかつつまんで限られた時間内で丁寧に分かりやすい説明を行った。

第2部は、一般参加者を4グループに分けて、毎年恒例のスタイルである小グループによる座談会を約50分間行った。

【小グループ座談会議題】

- ① 事業規模について
- ② 経営状況について
- ③ 労務管理責任者について
- ④ 船員の労働実態の把握
- ⑤ 船員法の労働時間
- ⑥ 船員の働き方改革による船舶の運航への影響
- ⑦ 内航海運組合の中央組織(東京)について
- ⑧ 荷主、オペレーターへの要望

今年は、定番の質問事項以外に、労務管理責任者の選任の有無や中央組織の在り方について話し合った。

小グループ座談会風景



各委員より各々のグループ内での発言内容等の取り纏め結果の報告後、最後に日浦部会長より総括した内容の発表があった。

(日浦部会長の主な総括内容)

- 船員の働き方改革: 予備員を確保できる状況が望ましい。
- 船員の労働時間: スマートフォン等アプリケーションの開発及び普及が必須。
- 荷役スケジュール: オペレーターから精度の高い情報提供を求めることで船員の労働時間改善につながる。

船連協では、小グループの座談会で出された意見要望等を踏まえて 11 月に予定しているオペレーター訪問に臨む。

最後は、村田会長及び三谷委員より閉会挨拶を賜わり、盛会裏に終わった。

